



# 平成31年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年8月9日

上場会社名 鉄建建設株式会社

上場取引所 東

コード番号 1815 URL <http://www.tekken.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊藤 泰司

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部 経理部長 (氏名) 金井 陽一

TEL 03-3221-2158

四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	37,360	5.5	1,416	3.0	1,755	11.5	1,161	8.7
30年3月期第1四半期	35,418	4.9	1,461	162.2	1,574	91.2	1,068	82.2

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 3,029百万円 (2.0%) 30年3月期第1四半期 2,970百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	74.43	
30年3月期第1四半期	68.45	

(注) 平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しています。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しています。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第1四半期	176,244	57,692	32.5
30年3月期	188,928	55,839	29.3

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 57,267百万円 30年3月期 55,418百万円

(注) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前連結会計年度に係る連結財政状態については、当該会計基準を遡って適用した後の数値となっています。

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期				75.00	75.00
31年3月期					
31年3月期(予想)				75.00	75.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	78,800	7.0	2,200	38.4	2,300	40.7	1,400	45.4	89.70
通期	176,000	4.4	7,300	10.4	7,200	4.6	4,600	18.4	294.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期1Q	15,668,956 株	30年3月期	15,668,956 株
期末自己株式数	31年3月期1Q	62,673 株	30年3月期	62,570 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期1Q	15,606,324 株	30年3月期1Q	15,610,115 株

(注)平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しています。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期中平均株式数を算定しています。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記予想は本資料の決算発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については添付資料の2ページをご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(追加情報) .....	7
(セグメント情報等) .....	8
3. 補足情報 .....	9
(1) 個別受注高 .....	9
(2) 個別完成工事高 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外経済の不確実性や金融市場の影響など、一部に先行き不透明な状況が見られるものの、雇用・所得環境の改善などにより緩やかな回復基調が続いています。

建設業界におきましては、公共投資は底堅く推移し、民間投資については、住宅建設は概ね横ばいで推移しているものの、企業の設備投資は緩やかな増加基調にあります。一方で、建設労働者の需給状況や資機材価格の動向などについては、引き続き留意する必要があります。

このような経済情勢のもと、当社グループの当第1四半期連結累計期間における連結業績につきましては、売上高は37,360百万円（前年同四半期比5.5%増）、営業利益1,416百万円（前年同四半期比3.0%減）、経常利益1,755百万円（前年同四半期比11.5%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益1,161百万円（前年同四半期比8.7%増）となりました。

なお、当社グループの主たる事業である建設事業においては、契約により工事の完成引渡し第4四半期連結会計期間に集中しているため、第1四半期連結会計期間から第3四半期連結会計期間における完成工事高に比べ、第4四半期連結会計期間の完成工事高が著しく多くなるといった季節的変動があります。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ12,684百万円減少し176,244百万円となりました。主な要因は、受取手形・完成工事未収入金等の減少29,219百万円、現金預金の増加8,061百万円です。負債合計は、前連結会計年度末に比べ14,537百万円減少し118,551円となりました。主な要因は、支払手形・工事未払金等の減少11,393百万円、短期借入金の減少6,415百万円です。純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,853百万円増加し57,692百万円となりました。主な要因は、その他有価証券評価差額金の増加1,846百万円です。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の連結業績予想につきましては、平成30年5月15日に公表しました通期の業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金預金	8,779	16,840
受取手形・完成工事未収入金等	101,230	72,010
有価証券	1,762	4,941
販売用不動産	217	217
未成工事支出金	4,360	5,665
不動産事業支出金	1,342	1,344
その他のたな卸資産	1,793	2,037
その他	9,798	9,874
貸倒引当金	△10	△5
流動資産合計	129,272	112,926
<b>固定資産</b>		
有形固定資産	20,491	21,285
無形固定資産	377	425
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	36,474	39,276
退職給付に係る資産	812	829
その他	2,023	2,025
貸倒引当金	△524	△524
投資その他の資産合計	38,786	41,606
固定資産合計	59,655	63,317
資産合計	188,928	176,244

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	56,488	45,094
短期借入金	29,343	22,927
未払金	1,362	637
未成工事受入金	5,564	6,572
引当金	2,886	2,429
その他	14,117	15,430
流動負債合計	109,762	93,092
固定負債		
長期借入金	13,392	14,306
再評価に係る繰延税金負債	2,217	2,217
退職給付に係る負債	6,326	6,254
その他	1,390	2,679
固定負債合計	23,326	25,458
負債合計	133,089	118,551
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	18,293	18,293
資本剰余金	5,329	5,329
利益剰余金	13,786	13,777
自己株式	△93	△94
株主資本合計	37,316	37,307
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,073	15,920
土地再評価差額金	4,199	4,199
退職給付に係る調整累計額	△171	△159
その他の包括利益累計額合計	18,101	19,960
非支配株主持分	421	425
純資産合計	55,839	57,692
負債純資産合計	188,928	176,244

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高		
完成工事高	34,916	36,933
兼業事業売上高	502	426
売上高合計	35,418	37,360
売上原価		
完成工事原価	31,384	33,189
兼業事業売上原価	369	308
売上原価合計	31,753	33,497
売上総利益		
完成工事総利益	3,531	3,744
兼業事業総利益	133	118
売上総利益合計	3,664	3,862
販売費及び一般管理費	2,203	2,446
営業利益	1,461	1,416
営業外収益		
受取配当金	279	309
為替差益	-	80
その他	65	67
営業外収益合計	344	456
営業外費用		
支払利息	120	115
為替差損	107	-
その他	3	2
営業外費用合計	231	117
経常利益	1,574	1,755
特別損失		
固定資産除却損	0	-
固定資産撤去費用	-	25
その他	-	2
特別損失合計	0	27
税金等調整前四半期純利益	1,574	1,728
法人税、住民税及び事業税	132	97
法人税等調整額	367	459
法人税等合計	500	556
四半期純利益	1,074	1,171
非支配株主に帰属する四半期純利益	5	9
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,068	1,161

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)
四半期純利益	1,074	1,171
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,841	1,846
退職給付に係る調整額	54	11
その他の包括利益合計	1,896	1,858
四半期包括利益	2,970	3,029
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,964	3,019
非支配株主に係る四半期包括利益	5	9



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しています。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連 結損益計 算書計上 額(注3)
	土木 工事	建築 工事	不動産 事業	付帯 事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	22,638	12,278	188	235	35,340	77	35,418	—	35,418
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	85	5,386	5,472	—	5,472	△5,472	—
計	22,638	12,278	273	5,622	40,813	77	40,891	△5,472	35,418
セグメント利益	1,040	280	95	26	1,442	22	1,464	△3	1,461

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、スポーツ施設運営等の事業を含んでいます。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去です。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連 結損益計 算書計上 額(注3)
	土木 工事	建築 工事	不動産 事業	付帯 事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	22,130	14,803	173	166	37,274	85	37,360	—	37,360
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	80	5,988	6,069	—	6,069	△6,069	—
計	22,130	14,803	254	6,155	43,343	85	43,429	△6,069	37,360
セグメント利益 又は損失(△)	1,397	△95	74	20	1,397	26	1,423	△7	1,416

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、スポーツ施設運営等の事業を含んでいます。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去です。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度末より、従来は「その他」に含んでいた資機材販売や警備業務等の事業の重要性が増したことに伴って事業セグメントの見直しを行ない、資機材販売、警備業務等は土木工事及び建築工事に付帯する事業であることから「付帯事業」として区分を変更し、報告セグメントを従来の「土木工事」、「建築工事」及び「不動産事業」の3区分から、「土木工事」、「建築工事」、「不動産事業」及び「付帯事業」の4区分に変更しています。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを記載しています。

## 3. 補足情報

## (1) 個別受注高

## ①受注実績

(単位：百万円)

区 分		前第1四半期累計期間 自平成29年4月1日 至平成29年6月30日		当第1四半期累計期間 自平成30年4月1日 至平成30年6月30日		比較増減	増減率	
建設事業	土木	国内官公庁	4,408	11.0%	11,186	26.2%	6,777	153.7%
		国内民間	13,449	33.8%	9,147	21.5%	△4,301	△32.0%
		海外	△7	△0.0%	8,418	19.8%	8,425	—
		計	17,850	44.8%	28,752	67.5%	10,902	61.1%
	建築	国内官公庁	64	0.2%	924	2.2%	859	—
		国内民間	21,890	55.0%	12,931	30.3%	△8,958	△40.9%
		海外	—	—	—	—	—	—
		計	21,955	55.2%	13,856	32.5%	△8,098	△36.9%
	合計	国内官公庁	4,473	11.2%	12,111	28.4%	7,637	170.7%
		国内民間	35,339	88.8%	22,079	51.8%	△13,260	△37.5%
		海外	△7	△0.0%	8,418	19.8%	8,425	—
		計	39,805	100.0%	42,609	100.0%	2,803	7.0%
うち鉄道		18,944	47.6%	16,887	39.6%	△2,057	△10.9%	

(注) 1. パーセント表示は構成比率

2. 当該四半期累計期間前に受注した工事で、契約の変更により請負金額に増減のあるものについては、当該四半期累計期間受注高にその増減を含みます。また、当該四半期累計期間前に外貨建てで受注した工事で、当該四半期累計期間中の為替変動により請負金額に増減があるものについても同様に処理しています。

## ②個別受注予想

	第2四半期		通期	
平成31年3月期予想	91,000百万円	18.0%	172,000百万円	1.8%
平成30年3月期実績	77,131百万円	△1.4%	169,013百万円	△2.1%

(注) パーセント表示は、前年同期比増減率

## (2) 個別完成工事高

(単位：百万円)

区 分		前第1四半期累計期間 自平成29年4月1日 至平成29年6月30日		当第1四半期累計期間 自平成30年4月1日 至平成30年6月30日		比較増減	増減率	
建設事業	土木	国内官公庁	10,936	31.7%	9,752	26.8%	△1,183	△10.8%
		国内民間	11,287	32.7%	11,817	32.5%	529	4.7%
		海外	—	—	—	—	—	—
		計	22,223	64.4%	21,569	59.3%	△654	△2.9%
	建築	国内官公庁	772	2.2%	2,069	5.7%	1,297	168.0%
		国内民間	11,506	33.4%	12,734	35.0%	1,228	10.7%
		海外	—	—	—	—	—	—
		計	12,278	35.6%	14,803	40.7%	2,525	20.6%
	合計	国内官公庁	11,708	33.9%	11,821	32.5%	113	1.0%
		国内民間	22,793	66.1%	24,551	67.5%	1,757	7.7%
		海外	—	—	—	—	—	—
		計	34,502	100.0%	36,373	100.0%	1,870	5.4%
うち鉄道		17,680	51.2%	16,828	46.3%	△852	△4.8%	

(注) パーセント表示は構成比率